

(シラバスNo.2)

科 目 名	専門職者としての基盤（２）	科目コード	24P-M2
		科目群名	基盤科目
	Professional base（２）	必修／選択	必修
		教職	－
担当教員	専任教員	単位数	2
【実務内容（実務家教員の場合）】 該当しない			
【授業概要】 2年間の間でよりよい実践研究を遂行するため、①テーマの設定、資料の検索、②データへのアプローチ、③データの収集、データの分析の三段階を網羅的に紹介し、研究で広く用いられている手法を学修する。さらに、論文作成に必要な基礎的知識、研究倫理に関する基礎的知識について学修することで、実践研究の基礎となる力を身につける。			
【授業の到達目標】 1. 教育実践の研究を充実したものにするために、研究で広く用いられている手法、論文作成、研究倫理を修得する。 2. 与えられたテーマについて解決策の検討を行い、優先順位を検討したうえで、先行研究や資料等からの引用も用いて研究計画を提案することができる。			
【授業の形態】 メディア授業の実施（あり） <授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）			
形態	実施	具体的に実施すること	
講義	○	実践研究の基礎について解説する。	
グループワーク・質疑			
演習			
プレゼンテーション	○	自分の考えている研究テーマに対して、この授業で役立つと考えるものについて発表する。	
制作			
その他 （ ）			
【授業計画】			
回	内 容		
1	イントロダクション（岩澤一美）		
2	論文作成・研究倫理の基礎（岩澤一美）		
3	研修の企画・運営の方法（１）（澤田真弓）		
4	研修の企画・運営の方法（２）（澤田真弓）		
5	ユニバーサルデザインに基づいた授業研究（１）（阿部利彦）		
6	ユニバーサルデザインに基づいた授業研究（２）（阿部利彦）		
7	教育課程から見た「問いを立てる」とは（北村克久）		
8	探求の過程から見た「私の研究の現在地」（北村克久）		
9	質的研究（１）～インタビューの実施～（芳川玲子）		
10	質的研究（２）～インタビューの分析～（芳川玲子）		
11	量的研究（１）～アンケートの企画・設計・実施～（仲 久徳）		
12	量的研究（２）～アンケートの分析・報告のまとめ方～（仲 久徳）		

13	論文作成・研究倫理の発展（岩澤一美）
14	まとめ（１）～学生の発表～（専任教員）
15	まとめ（２）～学生の総括～（専任教員）
試験	
【履修上にあたっての準備】 それぞれの段階において適宜アドバイザー教員のアドバイスを受けてください。	
【授業外学修（予習・復習）】 事前に資料を熟読して、授業に臨んでください。必要な課題については、その都度指示を出します。	
【評価方法】 授業への貢献（研究発表）（50%）、レポート（50%）の割合で総合して評価する。	
【教科書】 授業で指示を出します。	
【参考図書】 授業で指示を出します。	